

令和6年に都道府県等から情報提供いただいた 農作業事故情報について

- 農林水産省では、都道府県等の行政機関や農業団体、農業機械関係事業者様などから、前月に発生した農作業事故情報を報告いただき、「農作業死傷事故の発生状況」として公表しています。
- 令和6年は、昨年より50件程度多い合計354件の農作業事故の報告があり、内訳は「死亡」が145件、「重傷※」が117件、「軽傷・その他」が92件でした。
※ 30日以上の治療を要するもの
- 例年と同様、4～10月の農繁期に多くの事故報告があり、今後もこれらの時期の事故に更に注意していく必要があります。
- 農林水産省などの関係機関では、令和7年度の重点推進テーマを「学ぼう！正しい安全知識」とし、5～7月を熱中症、12～2月を農業機械作業に関する研修強化期間に設定しました。
- 農作業事故の防止には、正しい知識が不可欠です。各地域で開催される安全研修に積極的にご参加ください。

ご報告いただいた農作業死傷事故報告は、（国研）農研機構に共有され、農作業事故の動向分析等を反映した農作業事故減少に向けた研修手法や研修資材作成等に活用されています。作成されたものは農研機構が運営するサイト「[農作業安全情報センター](#)」に掲載されています。

事故報告に協力いただいている各関係機関の皆様方におかれましては、今後も幅広く情報をお寄せくださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

農作業死傷事故の報告数（令和6年）

（単位：人）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
全体	8	12	20	33	50	48	41	36	44	30	21	11	354
うち死亡	3	4	8	15	12	14	20	19	15	18	11	6	145
うち重傷	3	6	9	12	21	15	11	7	17	6	7	3	117
その他	2	2	3	6	17	19	10	10	12	6	3	2	92

注 本調査結果は「[農作業事故等の情報収集の強化に向けた要請について（令和2年5月19日付け2生産第302号農林水産省生産局長通知）](#)」に基づいて都道府県等から提供のあった情報を基に作成しています。このため、厚生労働省の「人口動態調査」に係る死亡個票等を用いて農林水産省が公表している「[農作業死亡事故調査](#)」とはデータが一致しない場合があります。